

事務事業名	高齢者等バス・タクシー利用料金助成事業		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	高齢者福祉G	課長名 熱田 小百合
	施策名	〈21〉高齢者福祉の充実		担当者名	嘉本 峻汰	電話番号 0854-40-1042 (内線) 2151
	目的対象	65歳以上の市民	意図	生きがいを持って、住み慣れた地域で安心して暮らす。		
	基本事業	〈060〉地域ケア体制の充実		予 算 科 目	0:1:15:0:4	大 事 業 名 在宅福祉事業
目的対象	65歳以上の市民	意図	住み慣れた地域で安心して暮らす。		0:5:3:0:1:5	中 事 業 名 高齢者等バス・タクシー 業 名 利用料金助成事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
普通自動車運転免許を持たない方のうち、65歳以上の方、身体・療育・精神手帳所持者、難病患者、戦傷病者手帳所持者、児童福祉施設の料金割引証所持者	外出の際の移動手段を確保し、住み慣れた地域で安心して生活できる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H29 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	普通自動車運転免許を持っていない65歳以上の者等の外出時の移動手段を確保するため、バスやタクシーで使える「優待乗車券」を券面額の半額で交付する。 交付額: 100円券10枚つづりで500円 500円券10枚つづりで2,500円 年間交付上限額: 券面額で36,000円
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) ・資格証及び優待乗車券の交付 ・市内タクシー事業者への優待乗車券使用分支払 ・実績管理	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 特になし。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
タクシー・デマンドタクシーで優待乗車券を利用した者数	人	939	942	896	900
何か手助けをしてほしいことがある65歳以上の者の割合	%	9.3	12.0	11.5	11.5
ア					
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
需用費 69千円	扶助費 12,342千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円	9,955	11,582	12,411	14,179
			一般財源	千円	5,407			
			事業費計	千円	15,362	11,582	12,411	14,179

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	外出の際の移動手段を確保し、住み慣れた地域で安心して生活することができる。
② 事業実施するうえでの課題	令和元年度から新たに保健福祉事業負担金を財源として充当している。今後も継続してこの財源を見込むことができれば、購入上限やタクシーの使用上限について検討の余地がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	購入上限やタクシーでの使用上限について検討する。